



ファイバーグラス・ルーフはエネルギー問題に関するファンタスティックな話題を提供した。写真上が昼、写真下が夜の光景である



Houston Town And Country

センター名/ヒューストン・タウン&カントリー
 所在地/テキサス州ヒューストン市
 モール延床面積/約3,000㎡
 デベロッパー/ハーン社
 オープン/1983年

ヒューストン・タウン&カントリーの昼と夜

アーキテクトは技術の革新も怠らない。マーケティング・アーキテクトとしてはエネルギー問題も大きな課題である。

効果的な費用対効果を生み出す新技術は、クライアント/デベロッパーに喜ばれる。しかし、それが消費者の心も満たすものでなければ、いずれ「失敗例」の烙印を押されてしまうだろう。

コーバ・リボン・アソシエーツが、ヒューストン・タウン&カントリーのショッピング・モールで初めて使用したファイバーグラス・ルーフは、エネルギー問題に関するファンタスティックな話題を提供した。

それはエネルギー負荷の減少、工事費の低減という数字上のメリットに加えて、今までなかったスペースを生み出す結果となった。昼はルーフを透過する天光が半戸外のような光のスペースを形成する。そして、夜は反射光がやわらかに包み込むような雰囲気をつくる。

開放感のある空間をつくるために大きなトップライトを使うのは常套手段であるが、鋭角的なガラスと異なった優しさが広がる。この方法は、この後、こうした施設におけるひとつのスタイルとなっている。